

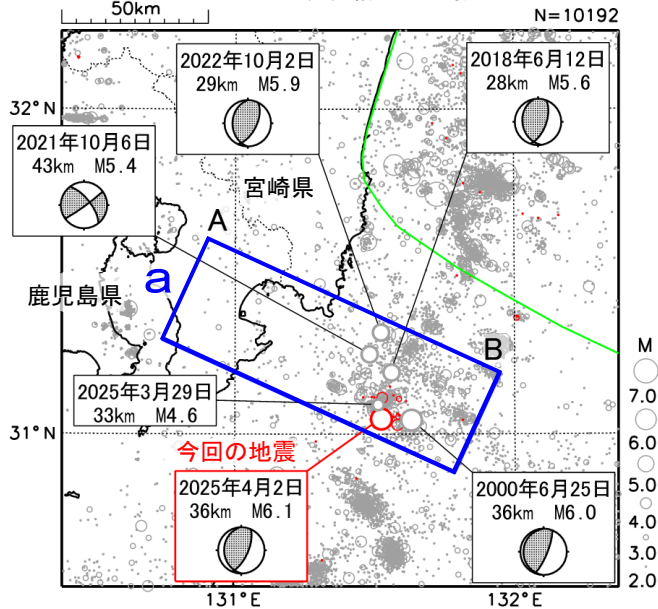
4月2日 大隅半島東方沖の地震

震央分布図

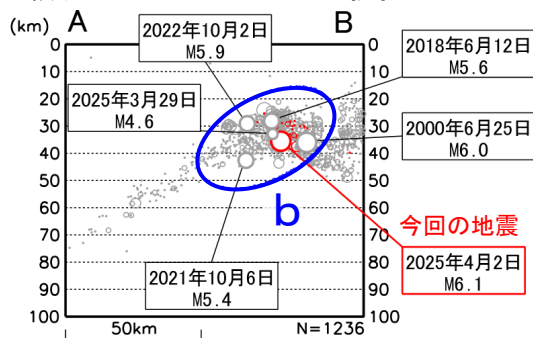
(1997年10月1日～2025年4月30日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2025年4月の地震を赤色○で表示

緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)

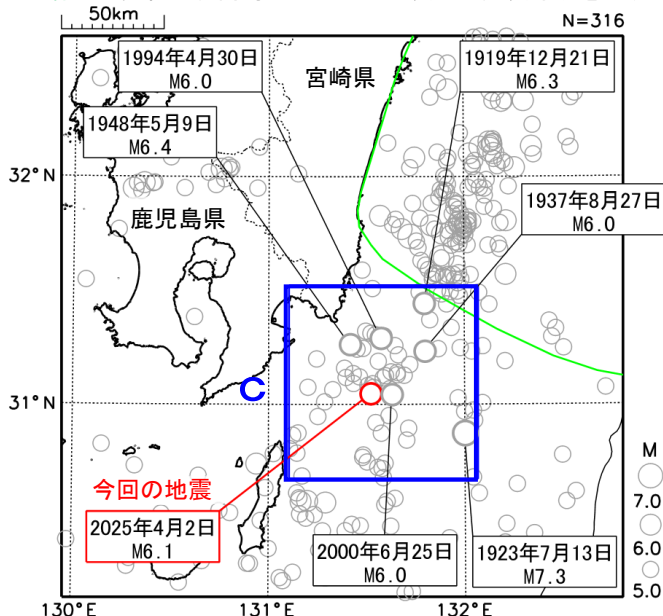


震央分布図

(1919年1月1日～2025年4月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2025年4月の地震を赤色○で表示

緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

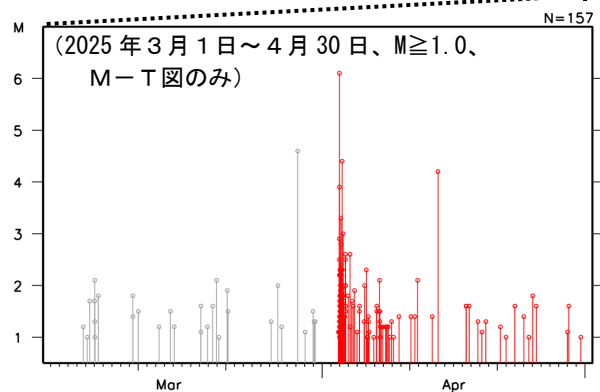
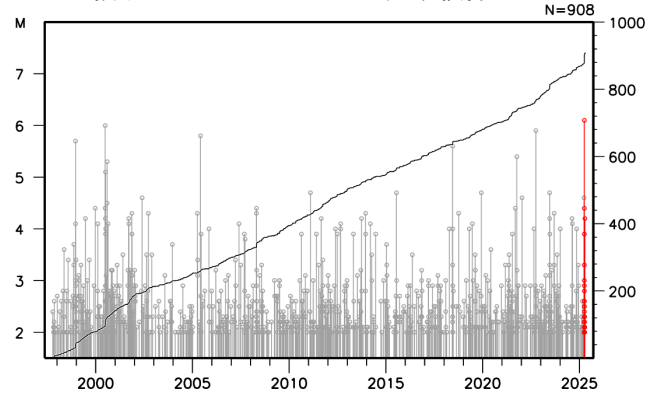


2025年4月2日23時03分に大隅半島東方沖の深さ36kmでM6.1の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震源付近 (領域b) では、2025年3月29日にM4.6の地震 (最大震度3) が発生している。

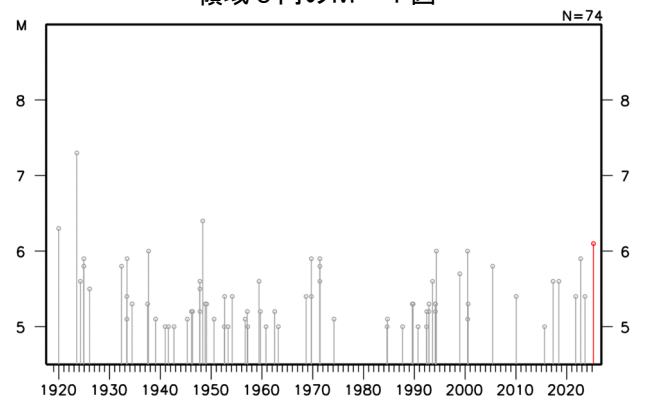
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) ではM5.0以上の地震が時々発生している。2000年6月25日にはM6.0の地震 (最大震度4) が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) ではM6.0以上の地震が今回の地震を含めて7回発生している。このうち、1923年7月13日に発生したM7.3の地震では、鹿児島県の中種子村 (現在の中種子町) で住家小破27棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



気象庁作成